

田村市の文化財

関係教育生涯学習課 電話 81・12115

『三十三観音』

さんじゅうさんかんのん

観世音菩薩が33の姿に変化し、衆生(生命のあるすべてのもの)を救うという観音信仰が、飛鳥時代に中国から日本に伝来します。この信仰は平安時代になって貴族社会に定着し、観音霊場参詣が活発化する中で、近畿地方を中心に点在する観音菩薩をまつる札所寺院33か所を巡る西国三十三所が形成され、これを巡礼参拝することで現世での罪が消滅し、極楽往生できるとされました。

西国三十三所の影響を受け、東国にも坂東三十三所や秩父三十三所などが設けられ、田村市関連でいえば室町時代に福島県中通り地方に仙道三十三所ができ、今の堂山王子神社(船引町門沢・旧堂山寺)、日渡神社(船引町新館・旧満願寺)、入水寺(滝根町菅谷)の3カ所が札所とされました。



1

当初は、修行僧や修験者などが巡礼を行っていました。江戸時代になると庶民の間で大いに流行し、各地に形成された三十三所巡礼が盛んに行われました(県内では会津三十三所が有名。田村市関連では三春三十三所などがあります)。そうした中でも西国三十三所は憧れの聖地で、田村市菅谷・入水寺の裏山に所在する市指定史跡「入水



2

三十三観音は、自然の岩などに浮彫りされた磨崖仏で、1850(嘉永3)年に寺の信徒が西国三十三所を巡礼した記念に、各札所の土を持ち帰り、造立した像の下に埋めたとされます。浮彫りされた33体の像には西国三十三所それぞれの札所名と寺名、本尊名が刻まれています。



3

現在「西国三十三所供養塔」は1861(文久元年)の銘があり、観音像それぞれに入水三十三観音と同じように札所名や本尊名などが刻まれています。しかし、明治の廃仏毀釈の際に像が毀され部分的に破損しています。

西国三十三所崇拜を物語る文化財としてもうひとつ、船引町の片曾根山頂付近にある岩壁に線刻された市指定史跡「片曾根三十三観音」があります。江戸時代後期、重病を患った付近住人が、自分の病気が治るようにと西国三十三観音を彫って祈願したところ、願いが通じ病気が治ったという言い伝えがあります。

なお、西国三十三所には現在も多くの参拝者が訪れ、2019(令和元)年「日本遺産」に認定されました。

1 入水三十三観音

2 西国三十三所供養塔 (芦沢本郷)

3 片曾根三十三観音

次回は「地名」を紹介する予定です。
田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



地域の安全安心を守る
田村市消防団

No.52

消防団だより



大越の安全を守る 大越地区隊

今回の消防団だよりでは、大越地区隊の活動をご紹介します。



田村市産業団地内で放水訓練を実施
11月6日、第1分団が産業団地内の災害を想定した放水・中継訓練を実施しました。
消防ポンプ6台が出勤し、消火栓・調整池から火元ま



でをホースでつなぎ、長距離での送水時に注意することなどを再確認しました。
団員たちは、情報伝達やポンプ設置・操作、ホース展開などの役割を務めながら、互いに連携し、訓練を行いました。



秋季火災予防運動の実施

11月9日から15日に実施された秋季全国火災予防運動に合わせ、13日に防火パレードを実施しました。
防火パレードには、団員23人・消防車両9台が出勤し、町内を巡回し、市民へ火災予防を呼びかけました。火災予防について広報を実施し意識向上を図りました。



消防団に入りませんか？

消防団員は非常勤特別職の公務員。普段はそれぞれ自分の仕事をしています。「自分の住むまちを自らの手で守る」という信念のもと、一人一人ができる範囲で活動しています。あなたもその一員になりませんか？



広告欄 : Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ